



世界遺産に登録された小牧野遺跡

## 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産一覧表への記載決定！

縄文遺跡群の世界遺産登録への取組みは、青森県では2006年（平成18年）にはじまり、2020年（令和2年）1月に日本政府により、本市の三内丸山遺跡や小牧野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦書がユネスコに提出され、同年9月には、国際記念物遺跡会議（イコモス）の専門家が現地調査を行いました。

そして、2021年（令和3年）5月26日に、イコモスによる「世界遺産一覧表への記載が適当」との評価結果の勧告がなされ、同年7月27日、第44回世界遺産委員会拡大会合において、念願の世界遺産登録が決定しました。

裏面につづく

令和3年7月27日、中国・福州市（オンライン）で開催された、第44回世界遺産委員会拡大会合において、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産一覧表への記載が決定しました。この日、縄文の学び舎・小牧野館を会場に、地元町会や関係団体が参加して、世界遺産委員会における審議の様子をインターネット中継で視聴し、決定の瞬間を祝うパブリックビューイングを行いました。登録が決まった瞬間には、館内は拍手に包まれ、参集者は共に登録決定の喜びを分かち合いました。その後、登録決定を祝い、地元の高田ねぶたや囃子の披露による祝賀セレモニーが行われました。

また、決定を記念し、10月に世界遺産登録決定記念式典、11月に縄文シティサミットin あおもりを開催しました。



イコモスからの勧告を祝う会（5月27日）



パブリックビューイング（7月27日）



世界遺産登録決定記念式典（10月2日）



縄文シティサミット in あおもり（11月6日）

## 遺跡を大切に

青森市では、現在までに430ヵ所以上の遺跡が見つかっています。遺跡は、地下に埋もれているため、現在登録されていない場所でも新たに発見されることがあります。

地面を掘削するような開発工事等を行う場合には、計画の早い段階で開発予定地における遺跡の有無について照会してください。

## 《文化財課移転のお知らせ》

文化財課は、令和4年3月28日をもって駅前庁舎から縄文の学び舎・小牧野館2階へ移転し、4月1日より課名が「文化遺産課」になります。

【問合せ】青森市教育委員会事務局文化財課

青森市大字野沢字沢部108-3 縄文の学び舎・小牧野館2階 TEL017-718-1392 FAX017-718-1394